

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者） ゴルフ場（従業員）	・夏祭りなど地域での催しが予定されている。 ・8月以降大規模なイベントの実施を予定しているため、来客数は増加する。
	変わらない	百貨店（担当者）	・例年よりも秋物商品の動向が悪いが、サマーセールについては台風の影響を差し引きすると顕著であったことから、消費意欲の観点から見ると今後の景気が大きく悪化する要素は見当たらない。
		百貨店（総務担当）	・プロ野球優勝セールに期待はするものの、依然として来客者の財布のひもは固い。
		スーパー（経営者）	・景気が良くなる要素が見られない。ここ2、3か月の現状はほぼ横ばい状態であり、今後も続く。
		衣料品専門店（経営者） 家電量販店（副店長）	・セール期なのだが、安いから購入するという様子はなく、この反応は以前に比べて変化した点である。 ・毎月定期的に行っている週末のセールで来客数は増加しているが、高額商品の売上につながる見込みは少ない。
		乗用車販売店（経営者）	・レンタカー会社の状況があまり良くないと声が聞かれることから、レンタカー会社への今後の販売増は期待できない。このままだと、9月以降にレンタカー抹消の数が増加することが見込まれ、中古車のマーケットシェアが拡大するなど、新車の購買にも影響が出る。
		観光名所（職員）	・沖縄への入域観光客が増える要因がない。
	やや悪くなる	一般小売店〔輸入ブランド品〕（経理担当） その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・大型店舗が閉鎖し、それによる失業者の増加による景気の悪化が危惧される。 ・季節変動で売上が上昇する月なのだが、例年ほどの伸びがみられない。観光客はかなり増加しているようだが、交通反則金の改定で、県民の夜の外出回数が増えている。居酒屋ではタクシーで来店すると、3000円の食事券を進呈するという店も出てきている。
		住宅販売会社（経営者）	・折込チラシ広告を行っても来客数は少なく、成約率も低い状況である。今後も厳しい状況が続く。
悪くなる	商店街（代表者）	・客は郊外店に流れているようで、商店街の個々の店では来客数、売上高の減少により大変厳しい状況下にある。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（営業担当）	・天候にも左右されるが、順調にいけば農産物の出荷増による物量の増加が見込める。
	変わらない	不動産業（支店長）	・景気に好影響を与えるような材料が見当たらない。
	やや悪くなる	輸送業（総務担当） 通信業（営業担当）	・某大型店の閉鎖による影響が少なからず出る。 ・受注率はほぼ横ばいを維持するが、受注高は下落する。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者） 職業安定所（職員）	・ユーザー対象を中心にアンケート調査を実施したところ、必要なところに必要なものを提供すればまだ需要は見込めるという事がわかった。新たな需要を引き出す方法はまだまだある。それができれば派遣の需要はまだまだ増える。 ・新規求人数や県外就職数が増加しているため、県内雇用情勢はやや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・年末までの間は、現状の小康状態が続く。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-